



第26回例会

平成18年1月11日(水)
サンパレス福島

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 ロータリーソング「奉仕の理想」
- 3 四つのテスト
- 4 お客様の紹介と会長挨拶 野地利雄 会長
- 5 誕生日のお祝い
- 6 食事 幹事報告
- 7 雑誌の読みどころ 斎藤善重 雑誌委員長
- 8 ガバナー補佐公式訪問 桑島ガバナー補佐
- 9 各委員会報告 ロータリー財団委員会
スマイリング委員会
出席委員会
- 10 閉会点鐘

会長挨拶 野地 利雄会長

会員の皆さん、改めまして新年明けましておめでとうございます。

本日1月11日は「鏡開き」の日です。お餅を今日用意しましたので食べていただきたいと思います。

今年思う事ではありますが、私達の企業、特に我々零

細企業にとり政治・経済情勢はまだまだ厳しいものがあります。しかし優秀な人材の育成と整った環境の下で働くことができれば増収・増益そして良い仕事ができるのではないかとお正月中考えておりました。このような環境を官民一体となり造らなければなりません。その一環として2月初旬には福島市企画課様により、福島市の価値と市のPRスピーチを行政の立場で行っていただく予定です。



新年早々ちょっとさびしい事ですが、会員の移動1名と退会者1名が出ております。残念ですが自己都合ということですので理事会に上申致します。会員の減少はクラブの衰退を余儀なくされる一因ではないかと思えます。新会員の増強はクラブの活性化と行動力・実行力を示します。しかし安易な会員増強はせずに、先輩会員のクラブ貢献また職業分類、本人の協調性等をよく考慮の上調査し増強に取り組んで頂きたいと思えます。当クラブは何人が上限かはクラブ差によりますが、やはり80名前後の会員数が理想的だと、地区の指導者の方々は述べられております。以上を参考に2名～3名の増強を新年にあたり皆様へお願い申し上げます。

最後になりますが、ガバナー補佐におかれましては11月の新世代会議にて多大なご指導と多大なるスマイリングを当クラブに頂き有難うございました。立派なホストクラブの役目を達成することが出来、本当に厚く御礼申

【会員名】伊藤 弘子

【企業名】㈱亀岡工務店 カメカメホーム

- 【P R】
- ・まるごと改築からチョットのリフォーム・修理まで、まごころの仕事を行います。
 - ・住み慣れた家でずっと快適に暮らしたい。リフォームは、家族みんなの願いをかなえる最初の一步です。お客さまの大切なお住まいを自信をもって、設計・施工いたします。
 - ・カメカメホームにお任せ下さい。



し上げます。35周年記念例会には是非、幹事共々ご臨席を賜り、我々と共に喜びを共有して頂く所存であります。ガバナー補佐の年始めの来訪スピーチにご期待を申し上げます、ご挨拶いたします。

ガバナー補佐公式訪問

2530地区東北第一区

ガバナー補佐 桑島 利力

皆さんこんにちは。南クラブの今年度活動状況の報告を頂きました。「地区になくはない、地区の為になるロータリー」こういう活動をされていることに対し衷心より敬意を表したいと思います。



(これより桑島ガバナー補佐のお話を要点のみ記述させていただきます。ご了承ください)

ポールハリスフェローについてお話をしたいと思います。ポールハリスフェローになるにはロータリー財団に1,000ドル寄付をするとポールハリスフェローという称号が与えられます。

米価1,000ドルの価値としては、次のような内容です。インドの300の村落が正常な水を得ることができる。ブラジルの研究交換チームが日本の地区大会に参加できる。タイの4人の孤児の1年分の養育費。等があります。「お金」という悪いイメージを持ちたがるが、良いイメージもある。同じ1,000円でも頂いた方が、贈った方よりその価値を1,000円以上に感じる。

最近、効果的なクラブということが言われている。どういうクラブかということ会員増強、例会がきちんと行われている。4つの4大奉仕もきちんとされている。その中に4つの項目があり、その1つにプログラムの参加と資金寄付の両面を通じてロータリー財団を支援することと明確に書かれております。したがってロータリアンとして財団に寄付することは義務とは言いませんが、当然な事しなければならないこと。ロータリアンは財団に毎年100ドルは寄付してください。

国際ロータリーではロータリー財団の使命として、地域レベル・全国レベル・国際レベルの人的教育的文化交流プログラムを通して、ロータリーの綱領・ロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支持すること。と規定しています。意義深い声明だと思います。ロータリー財団では、米山奨学会への寄付が、ややもすると本来財団に入るべきものという目で見えていた。しかし2～3年前のRI会長ラタクルは日本では財団と米山は車の両輪であると言いい、財団としても認めるべきと仰っています。RIの会長として米山記念館を訪れたのはラタクルさん唯1人で記念植樹等の足跡も残しています。

本日のお客様

2530地区東北第一区 ガバナー補佐 桑島 利力 様
2530地区東北第一区 幹 事 安斎 秀雄 様
近畿日本ツーリスト福島支店
支店長 川村 哲也 様 (H18.1.25入会予定)



今月・来月のプログラム

- 1月22日(日) 米山奨学生を囲む会(ホテル辰巳屋)
- 1月29日(日) 会長会議(ホテル辰巳屋)
- 2月 1日(水) ゲストスピーチ
福島市都市間交流推進室
室長 紺野喜代志様